



CAT 4.20.500

リリースノート

最終更新日 2025/11/06

目次

アップデート内容

テスト仕様書詳細検索がテストケース単位予定の空白検索に対応しました

プロジェクトの「削除」を再有効化可能な「アーカイブ」に変更しました

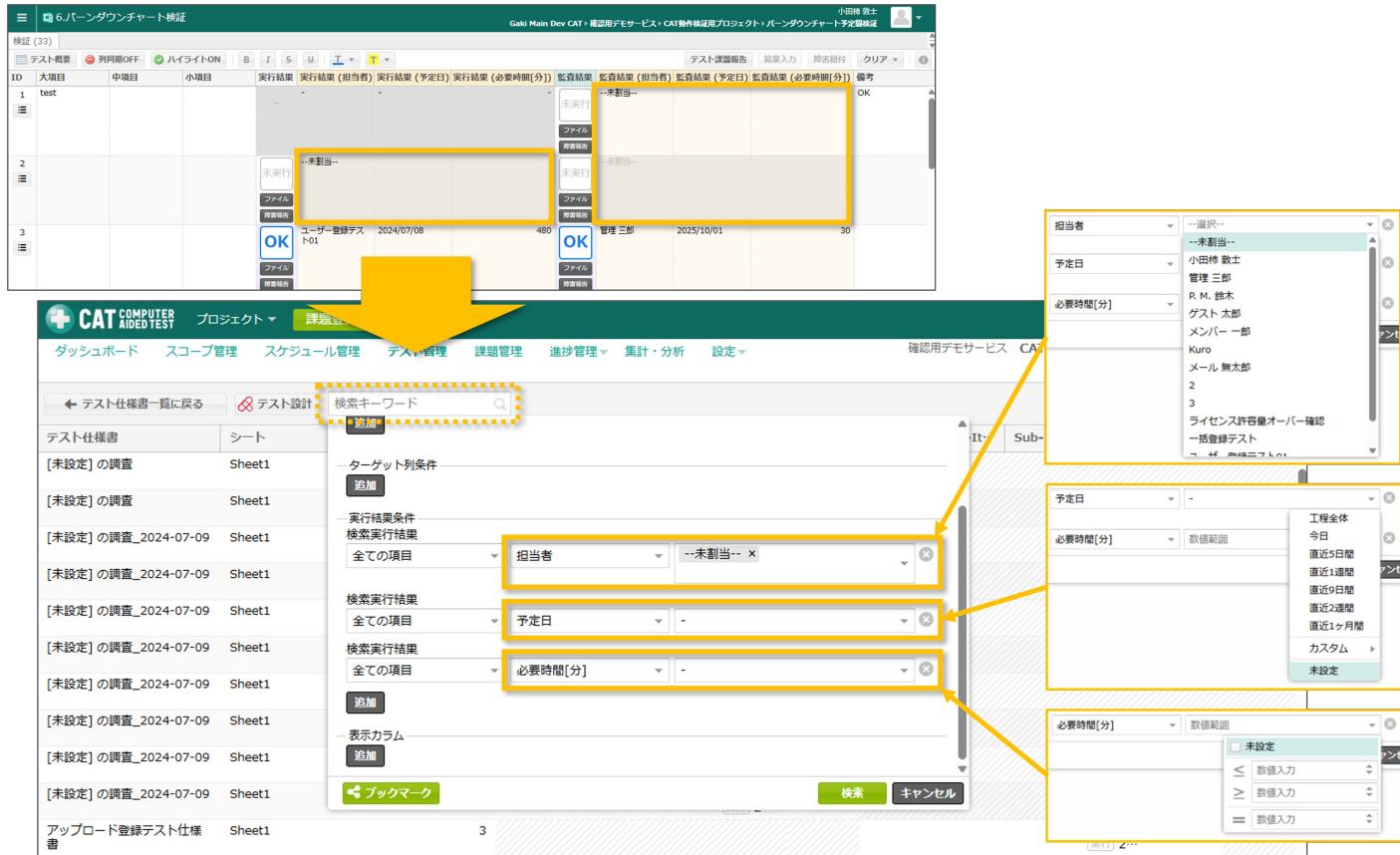
障害対応一覧

アップデート内容

テスト仕様書詳細検索がテストケース単位予定の空白検索に対応しました

テスト予定計画方式が「テストケース」単位の場合に、テスト実行画面で予定が未入力の行をテスト仕様書詳細検索機能で抽出できるようになりました。

今後は、登録されているテスト仕様書をまとめて検索して予定未入力行を確認し、検索結果から直接該当箇所に移動することで、予定入力作業をスムーズに進められるようになります。



テストケース単位予定の空白検索方法

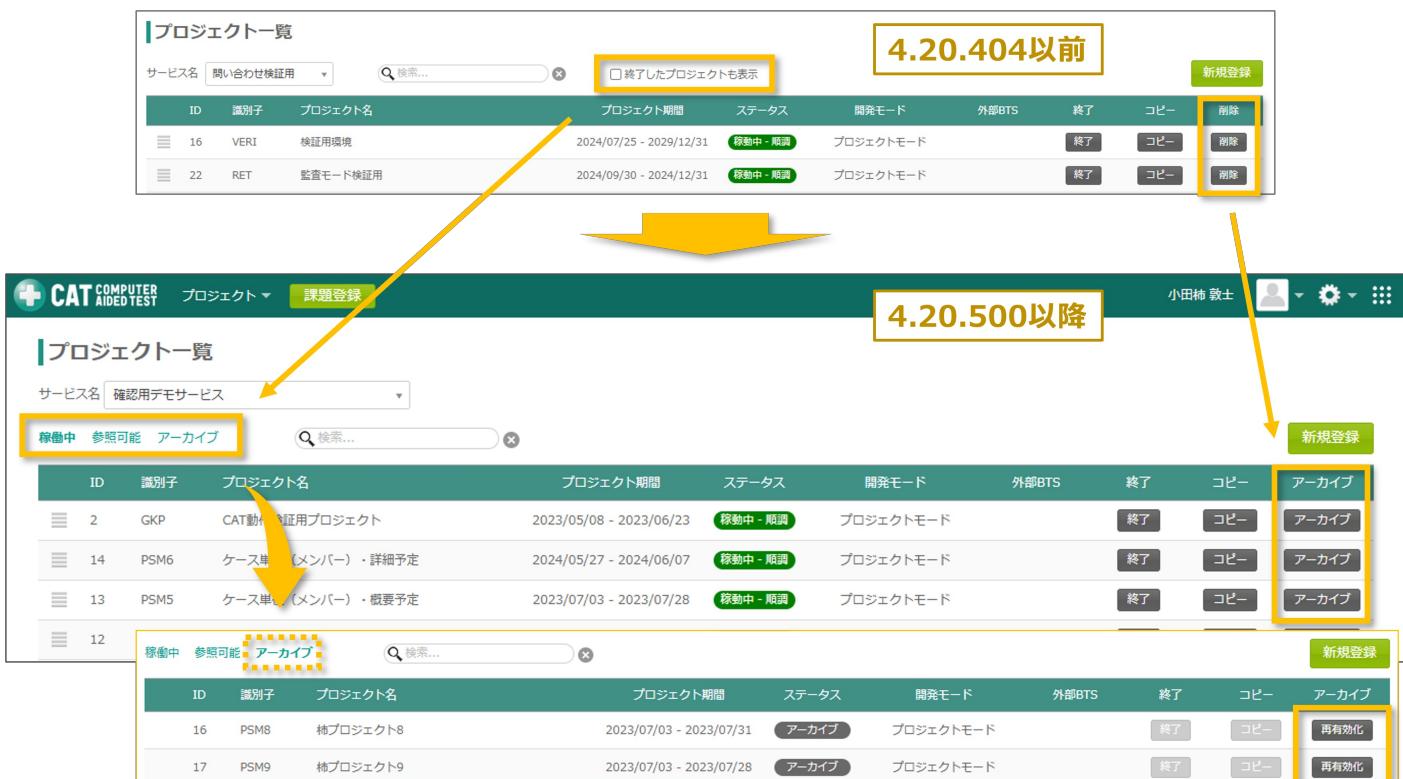
各予定情報列（担当者・予定期・必要時間[分]）の空白検索方法はそれぞれ以下になります。

予定情報列	条件設定箇所	空白検索方法
担当者	実行結果条件 > (列選択) > 担当者	選択肢に --未割当-- を含める
予定期	実行結果条件 > (列選択) > 予定期	未設定を押下する（結果、 - が入力される）
必要時間[分]	実行結果条件 > (列選択) > 必要時間[分]	未設定 チェックボックスにチェックを入れる

プロジェクトの「削除」を再有効化可能な「アーカイブ」に変更しました

これまで不可逆的な操作だったプロジェクトの「削除」を「アーカイブ」に変更し、再有効化できるようにしました。

これにより、誤操作等で削除してしまったプロジェクトがユーザー操作で復旧可能になります。



プロジェクト管理画面の表示切替

プロジェクトのアーカイブ・再有効化機能の提供のために、プロジェクト管理画面を改修してアーカイブされたプロジェクトを一覧表示できるようにしました。

主な改修箇所は以下です。

- これまでの「終了したプロジェクトも表示」チェックボックスの廃止
- 表示切替タブによるプロジェクト一覧の表示切替の導入（下表参照）

タブ	概要
稼働中	これまでの「終了したプロジェクトも表示」のチェックを外した状態と同一です。 プロジェクトステータスが「終了」以外の有効なプロジェクトが表示されます。
参照可能	これまでの「終了したプロジェクトも表示」をチェックした状態と同一です。 「終了」したプロジェクトも含めて全ての有効なプロジェクトが表示されます。
アーカイブ	アーカイブされたプロジェクトが一覧表示されます。 ※過去に削除したプロジェクトも表示対象です ※終了・コピー・表示順序変更およびプロジェクト設定へのリンクは無効です

削除ボタンのアーカイブ・再有効化ボタンへの変更

各プロジェクト情報行の「削除」ボタンを「アーカイブ」ボタンまたは「再有効化」ボタンに置き換えるしました。各タブにおけるボタンの表示と動作は下表を参照ください。

タブ	表示ボタン	動作
稼働中	アーカイブ	プロジェクトを無効化し、アクセス不可能な状態にします。
参照可能	アーカイブ	(同上)
アーカイブ	再有効化	アーカイブされたプロジェクトを再度有効化し、アクセス可能な状態に戻します。

障害対応一覧

障害ID	修正内容
TCM-2538	[バーンダウンチャート] 「対象外を無効なテストケースとして扱う」を一度有効化して再度無効化すると機能別グラフでサーバーエラーが発生する場合がある
TCM-2758	[テスト仕様書一覧] テスト仕様書を複数選択してシート設定を更新したときにバリデーションが不十分でテスト仕様書名が重複する場合がある
TCM-2763	[課題詳細画面] プロジェクトを終了にすると「テキストボックス(1行)」タイプのカスタムフィールドが表示崩れを起こす
TCM-2770	[ユーザー一覧] ステータス変更メニューの確認ダイアログのタイトルが日本語表示のときでも英語になっている
TCM-2797	[アクセス制限管理] 登録済みIPを一度空欄にして空白チェックに引っ掛けるとエラー対象になったIPを画面上で削除できなくなる
TCM-2820	[ダッシュボード] テスト集計の集計軸としてプロパティ項目を選んだときに内部的なIDが項目名の代わりに表示されてしまう
TCM-2834	[テスト仕様書アップロード] アップロード時にダイアログの列設定で日付列またはメンバー列を追加すると追加した列の値が実行画面上で設定できなくなる
TCM-2841	[課題編集ダイアログ] 発生環境として設定済みのテスト環境を削除すると課題編集ダイアログを開いたときにサーバーエラーが発生する